

特集

平成29年度決算報告

～魅力あふれるまち・豊山～

平成二十九年度決算についてお知らせします。
 一般会計の歳入は六十七億八千五百十九万円で、予算現額に対して九十八・九%の収入率でした。歳出は効率的な執行の結果、六十五億八千六百二十二万円となり、予算現額に対して九十六・〇%の執行率でした。
 今月号では昨年度の歳入・歳出の執行状況と、財政健全化法に基づく健全化判断比率・資金不足比率の算定結果についてご報告します。

歳入

歳入総額は、前年度比三億七千九十三万円の増収となりました。これは、固定資産税や各種譲与税、交付金が増加したことが主な理由です。

平成二十年度から導入した都市計画税は、都市計画事業を対象とした目的税であるため、下水道の整備費に充当しました。

歳出

歳出総額は、前年度比四億五千九百十五万円の増加となりました。昨年度は、町民の皆様の誰もが住みやすい、住み続けられる町を目指して様々な事業に取り組みました。

目的別歳出では教育費で二億九千三百二十万円の増加（対前年度比プラス四十一・一%）、総務費で二億八千六百五十五万円の増加（対前年度比プラス二十二・〇%）でした。

昨年度は、十年間を計画期間とする第四次総合計画の八年目でした。これ

までの取組や成果等を踏まえながら、まちの将来像である「にぎわいとやすらぎのアーバンビレッジ」のより高い次元での実現を目指して各施策に取り組みました。第四次総合計画のまちづくり目標別に実施した主な事業は次のとおりです。

目標1 快適で活気あふれる コンパクトなまち

・道路改良工事の実施

(6086万円)

中道地内における用地取得と県道春日井稲沢線へ接続する町道九号線の道路整備を実施

・大山川堤防道路の整備

(2650万円)

大山川右岸堤防道路（神明公園側）を歩道化するための用地取得と一部道路整備

・都市公園の管理

(2200万円)

神明公園への来訪者が安全で安心な

遊びや憩いの場として利用できるよう、監視カメラの更新を実施

目標2 にぎわいを生み出す 個性豊かなまち

・豊山町の魅力発信・PR

(132万円)

マスコットキャラクター「地空人くん」を活用し、町のPRを実施。また、新たに「プレミアムピンバッジ」を製作し、販売を開始

・交流拠点における環境の充実

(57万円)

タウンバス車内及びバス停六か所、航空館boonに整備したWi-Fi（公衆無線LAN）環境を維持

・農業施設の定期的な更新

(5490万円)

農業施設の適正な維持管理により、農地の有効利用や農業の活性化を図るため、用排水路や鋼製ゲートの更新を実施



整備中の大山川堤防道路